



横田ひでき 4年間の実績

野球場のスコアボードが電光掲示板に

高校時代の友人から野球場改修の必要性を告げられたのがスタートです。想いを同じくする仲間が集まってもらって団体を立ち上げ、署名活動を開始しました。全国の野球ファンから20,116名の署名が集まり、そのパワーで、多くの方々また県や市のご努力のおかげでスコアボードの電光掲示板化をメインとした改修工事が完了しました。



ICT専門学校高砂校（高砂松下村塾）開校



5年前、私のふるさと高砂町に若者が集まる学校があったらいいな、との想いを汲み上げてくださり、大変なご苦労とご努力が実を結び、開校の運びとなりました。東アジア諸国からの留学生で日本が大好きな若者たちです。

NPO高砂海文化21Cの活動

セーリング体験や海の環境学習をサポートしています。ヨット帆走を通じて北前船の航行体験したり、自然を感じ、マイクロプラスチック回収で海の環境学習をサポートしています。またヨットハーバー付近の清掃ボランティア活動にも精を出しています



ルネサンスみなと町高砂の活動



日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に認定された高砂堀川周辺地域を活性化することを目的としています。工楽松右衛門始め多くの偉人を顕彰し、歴史文化を将来に継承する活動をサポートしています。また高砂発の観光船交流事業や定期的な清掃ボランティア活動を実施しています。

横田ひできのプロフィール



維新の活動を精一杯アピール！



よく頑張りました

色とりどりの野菜

名 前 横田英樹
(よこた ひでき)
生年月日 昭和32年12月14日
高砂町沖浜町生まれ
年 齢 68歳
家 族 妻、子供（2男1女）
孫8人
趣 味 家庭菜園、
スーパー銭湯巡り、
ジョギング、読書
好きな言葉 Now is best!
置かれたところで
咲きましょう
メー ル yokochandai.258@gmail.com

●経歴

昭和45年3月 高砂小学校 卒業
昭和48年3月 高砂中学校 卒業 生徒会長
昭和51年3月 県立加古川東高校 卒業
生徒会風紀委員長
昭和57年3月 神戸大学経済学部経済学科 卒業
昭和57年4月 兵庫相互銀行（現みなと銀行）入社
昭和61年4月 株式会社森本材木店
（現モリス株式会社）入社
平成17年9月 モリス株式会社 常務取締役
平成22年4月 モリスリテール株式会社 取締役社長
平成28年4月 阿弥陀町魚橋南自治会 会長
平成30年9月 高砂市議会議員選挙に出馬 初当選
令和4年9月 高砂市議会議員 2期目当選
（得票数1,609票）

●履歴

2022年
高砂市野球場の改修を支援する会 設立
高砂市ソフトボール協会 会長
NPO高砂海文化21Cへ参加 活動開始
帆船みらいへ就航
2023年
野球の改修を支援する会 高砂市議会に陳情
ルネサンスみなと町高砂 工楽松右衛門かるた大会
兵庫維新の会 総務会長
2024年
ルネサンスみなと町高砂 39人パネル展 開催
兵庫維新の会 幹事長

2025年
野球場のスコアボード電光掲示板等の改修が決定
南堀川清掃、障害者ヨット体験 開催
NPO高砂海文化21c 海上ドローン撮影

2026年
ICT専門学校 高砂校（高砂松下村塾）開校
高砂市野球場 リニューアルオープン
阿弥陀 魚橋南自治会長
兵庫維新の会 総務会長

機 関 紙
日本維新

号外



発行元 日本維新の会

連絡先 横田ひでき後援会事務所

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通4-7-1
元町駅前ビル2階 東号 TEL.078-381-5271

〒676-0822 兵庫県高砂市阿弥陀町魚橋944-8
TEL.090-3611-1585 FAX.079-447-1941

たかきご改革
高砂をもっと前へ!!

高砂市議会議員

横田
ひでき



公式
ホームページ



公式
Facebook



公式
Instagram



個人
Instagram



公式
YouTube

好きやねん! 高砂 大好きなまちだから、もっと良くしたい! もっと良くなる!



横田ひできの政策2026

高砂市の課題

維新
身を切る改革
実行中!!

ズバリ、行財政改革です。

「ホンマにこれ必要な?」

「これ絶対必要やん」「これ今やらなあかんの?」

「今これやっとかんと将来困るで」の熟議からスタート。

市民の皆さんの立場に立って、必要なところに必要なだけ。市民の皆さんからお預かりした税金を市民の皆さんのために使います。

1. 将来への負担の増大

将来負担比率とは、簡単に言いますと財政規模に対する借金の大きさで、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。令和6年度の決算では高砂市は兵庫県下41市町中32位で今後さらに悪化します。

加古川市は12位、稲美町は14位、播磨町は6位です。過去の大型投資が原因とはいえ、大きな借金を背負いながら財政運営を継続していかなければなりません。現状では未来に向けた投資が本当にしにくくなっています。「もの」から「こと」への投資に切り替え、一旦立ち止まって今計画中の未来への投資をゼロベースで再検討する時が来ています。

2. 市民の皆さんからお預かりした税金の使い道をしっかり考える

高砂市政は、お金持ちだった頃の感覚をまだ引きずっていると感じています。今までの成功体験を捨て去り、ゼロベースかつ是々非々で、必要なところに必要なだけ、費用対効果をしっかり算定し、優先順位を再考し、市民の皆さんのためにと、税金の使い道を熟慮しなければなりません。

3. 広域連携の推進

広域連携とは、人口減少や高齢化、財政力の低下、専門人材の不足といった現代的な課題に対し、一自治体では対応が困難なサービスを維持・向上させるため、広域的・効率的な行政体制を構築することを目的としています。

具体的な連携事例としては①病院経営②ゴミ処理・上下水道③住民サービス④土木技術職の共同採用⑤公共施設の統合管理などです。近隣市町と比較して財政制約が大きい高砂市こそ率先して働きかけなければ、単独では市民の皆さんの継続的な福祉の向上は困難になる可能性が高くなります。



次の4年間でチャレンジ!!

1

病院は必要! でも今なのか? を考える

私は、市民病院の指定管理者制度導入による公設民営化には賛成です。また、将来的な病院建て替えも否定するものではありません。しかし、150億円規模の新築移転を今決断することには反対です。

地域医療振興協会が示した収支計画からは、現病院でも経営改善によって黒字化できる可能性が見えています。まずは指定管理者制度による経営改革の成果を確認すべきではないでしょうか。

現在の病院は築36年で、令和15年頃までは約9億円の設備改修で維持できるとされています。にもかかわらず、経営改善の効果や将来の医療需要を十分に見極める前に、多額の借金を伴う建て替えを進めることには大きな不安があります。

5年後には医療制度や東播磨医療圏の状況も変化しているはずで、その時点で病院の役割や規模を再設計し、必要性を改めて判断する方が、市民の税金をより有効に活用できます。

病院建て替えが目的ではありません。目的は、市民の命と健康を守り続けること、そして市民からお預かりした大切な税金を守ることです。今必要なのは、急いで結論を出すことなく、経営改善の成果という確かな根拠を積み上げた上で判断することだと考えます。



兵庫県 自治体病院 経営分析表 (令和6年度決算)

類似区分	病床利用率	入院患者1人 1日当たり収益	外来患者1人 1日当たり収益	職員給与対 医療収益比率
100床~200床 全国平均	67.9	41,859	11,744	69.2
高砂市民病院	61	46,318	11,954	73.1
加西市民病院	73.6	44,269	12,881	70.8
200床~300床 全国平均	68.5	57,103	14,926	65.6
西宮中央病院	43.6	60,145	17,007	74
300床~400床 全国平均	70	63,076	18,102	58.7
加古川医療センター	74.7	71,135	21,341	67.8
赤穂市民病院	55.1	59,356	15,697	59
500床~ 全国平均	76.3	85,381	25,545	49.8
加古川中央市民病院	89.8	93,800	25,140	42.5
はりま姫路総合医療センター	87	95,086	23,561	54.1

2

議員定数削減にチャレンジ!

人口減少と少子高齢化が進む中、今までと同じ仕組みを続けるだけでは、高砂市の未来は守れません。行政だけに改革を求めるのではなく、まず議会自らが身を切る改革を進めるべきです。私は議員定数削減にチャレンジします。目的は単なる経費削減ではありません。限られた財源を、子育て・医療・福祉・地域公共交通など、市民生活に必要な分野へ振り向けることで、議会も時代に合わせて変わるべきです。

「まず自ら改革する」。その姿勢を形にしていきます。

高砂市議員定数と議員一人当たり人口の推移(人口は国勢調査結果に基づく)

改正日	定数	削減数	施行日	人口	人口/議員定数
平成21年 10月1日	24→22	2	平成22年 9月選挙	94,000	4,272
平成25年 12月6日	22→21	1	平成26年 9月選挙	91,500	4,357
平成30年 5月28日	21→19	2	平成30年 9月選挙	88,000	4,631
令和8年 8月30日	19	0	令和8年 9月選挙	83,500	4,394
令和12年	19	0	令和12年 9月選挙	80,000	4,210
令和12年	19→17	2	令和12年 9月選挙	80,000	4,705

2030年(令和12年)の選挙で定数削減しなければ、

2010年(平成22年)よりも比較議員数は多くなる。

2030年(令和12年)の選挙で2名の定数削減できれば、比較議員数は最も少なくなる。

3

移動の不安、ゼロへ 市民が主役の公共交通に!

人口減少と少子高齢化が進む中、地域公共交通のあり方も変わらなければなりません。私は「市民が主役」の地域公共交通改革を進めます。現在のコミュニティバスを検証しながら、乗合型オンデマンド交通など新しい仕組みの導入を目指し、高齢者だけでなく、子育て世代や学生も利用しやすい移動環境を整えます。

また、既存のバス・タクシー事業者と連携し、地域全体で支える持続可能な交通ネットワークを構築します。

地域公共交通は単なる移動手段ではありません。通院や買い物を支え、人と人をつなぎ、地域を守る大切なインフラです。誰もが安心して暮らし続けられる高砂市を実現します。

